

令和 6年 4月 15日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（行政提案、市民提案事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 特定非営利活動法人 戸田市ITボランティアの会

代表者職・氏名 会長 清水久雄

所在地

補助種別	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案事業補助（テーマ名：町会会館などの無線LAN環境を活用した地域活性化事業） <input type="checkbox"/> 市民提案事業補助	
新規・継続	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（ 2年目）
事業名	スマホでつながる地域コミュニティー！	
関係部署名	※応募する事業について、事前に相談した課名を記入してください。 市民生活部 協働推進課	
実施期間	令和 6年 4月 1日 ~令和 7年 2月 28日	
確定前交付の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
申請中又は交付予定の他の補助制度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	

《団体の概要》

団体名	特定非営利活動法人 戸田市ITボランティアの会
ホームページ	<a href="https://www.todasi-it.com">https://www.todasi-it.com</a>
設立年月日	2004年 2月 9日 設立
会員数	33人
年会費	2,000円／1年間
団体の目的	戸田市民が IT(インフォメーションテクノロジー)活用によって、生活の向上、便利さの享受、広い世界への感嘆が、安全に出来るようになるためのお手伝いをするを目的とする。
主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボランティア・市民活動支援センターでのパソコン相談(52回/年)</li> <li>● 公民館(美笹・下戸田・新曽)主催パソコン相談(39回/年)</li> <li>● パソコン相談 福祉会(21回/年)</li> <li>● プリムローズ 子供パソコン(8回/年)</li> <li>● あいパル IT サロン(12回/年)</li> </ul>
昨年度の補助金等の援助状況	戸田市共創のまちづくり補助金
団体PRなど	<p>設立以来 20年にわたり公民館事業のパソコン講座やパソコン相談をサポートしてきましたが、スマートフォンの普及で相談内容も変化しており、市民の皆さんのご要望に対応できるように努力しております。</p> <p>例えば、デジタル推進委員(デジタル庁)に任命され、メンバー間でスマートフォンの勉強会などを実施しております。</p> <p>コロナ禍では、ボランティア・市民活動支援センターの登録団体向けにZoom講座を開催しました。</p> <p>これからも、市民の皆さんのご要望に沿った活動を行っていきたいと考えています。</p>

## 《事業企画書》

### 1 事業の目的・必要性

個人の町会活動を支えるツールとして、スマートフォンの活用を考える必要があります。「SNS」「暮らしを便利にする」「災害に備える」アプリをスマートフォンにインストールすると、町会運営の効率化や会員間のコミュニケーションの向上や理解が深まります。

市の情報配信や行政手続きが利用できるアプリをダウンロードしインストールします。

町会会館を会場にすることで、その地域に住む町会員以外の人も町会会館を利用するきっかけになります。

### 2 事業を実施するに当たっての現状や課題

LINE 戸田市公式アカウントの登録者は 11,948 人(4/7 現在)、またその使い方や内容についての説明会などはされていません(ユーザに届いていない)。スマートフォンのアプリ相談については携帯電話会社から断られる、あるいは有料ということが現状です。またあわせて参加者が持参するスマホは android や iPhone と機種そのものが違うため、アプリをダウンロードや操作方法を教えるところから始まってしまい、本来のアプリ操作の時間が取れなくなるため、アプリ(LINE)を用いた事業としました。

実際にアプリ使うことで、町会内の様々な年代との交流や、新しいコミュニケーションツールになることを目指します。

昨年度同事業を町会・自治会内の方を対象として開催しましたが、参加者の募集など町会・自治会にご協力いただくことが多かったため、今回は範囲を広げ、各地区の中でオープンに集客することとし、事前の募集は行わず町会の負担軽減を実施します。代わりに周知方法については行政(協働推進課)と連携しあいながら広く周知していくことを計画しています。

最後に、今後の町会運営デジタル化に関しての意見交換の場を持たせていただきます。町会ご希望のアプリなどについても相談に乗りたいと考えております。

### 3 事業の具体的内容

## 1. 講座内容

① 1コース(2時間)、定員 10 名〈無線 LAN 環境が整備されている町会会館等〉

- スマートフォンで何ができるか？
  - LINE の戸田市公式アカウントの友だち申請と操作方法
  - LINE の活用方法(メッセージや写真の送信、グループの作り方など)
- ※講義の合間にお茶の時間をもち、参加者との情報交換の場を設けます。

必要に応じて別途実施する。

- 町会希望のアプリについて(LINE 公式アカウントの作りかたなど。)
- ※ご自分のスマホを持参願います。

② 協力可能な町会・自治会のイベント開催時に、スマホに関する個別相談ができるブースを設ける。

## 2. 対象者

スマートフォンを持っている人は誰でも(特にシニア世代)

## 3. 周知方法

広報 Toda、ボランティア・市民活動支援センター(HomePage)、当会 HomePage  
ポスター配布(各町会会館、公民館、市役所、公共施設 20ヶ所)

## 4. 受付方法

当日自由参加型(事前受付なし)

## 4 事業の実施体制

2024 年7月～2025 年2月まで計10コース、10回の開催となります。

戸田市ITボランティアの会より、

- 講師:1人(デジタル推進委員)、サポート:3人 を派遣します。
- 資料/ポスターの作成、印刷、製本。
- 機材:スクリーン、プロジェクター※町会会館にない場合は当団体又はボランティア・市民活動支援センターから借用する予定です。

## 5 事業実施のスケジュール

月日	内容
補助金交付決定後	行政(協働推進課)との打ち合わせ
7月	2コース(下戸田地区)、町会会館でのチラシ・ポスターの掲示
9月	2コース(上戸田地区)〃
10月	2コース(新曽地区)〃
11月	2コース(笹目地区)〃
1月	2コース(美女木地区)〃

6 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

(10人/コース)×10=100人の参加者

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| ■ LINEの戸田市公式サイトインストール | 参加者の100% |
| ■ LINEのグループ作成         | 参加者の100% |
| ■ アプリ「マイナポータル」のインストール | 参加者の100% |
| ■ 町会員以外の参加人数          | 合計10名    |

7 今後の展望

参加してくれた方が疑問や質問を持たれた場合は、「公民館」や「あいパルITサロン」で行われているスマホ・パソコン相談にお越し願います。

今後も、継続した活動を行い、参加して頂ける町会数を増やしていきたいと考えています。

これを機会に、町会の皆さんがお持ちの要望（デジタル機器の有効活用など）に対応できるようにしたいと考えています。

8 役割分担

(申請団体の役割)

講師、サポートの提供/資料の作成/ポスターの作成/印刷

(市の役割)

町会との交渉/集客/宣伝

(協働することの必要性、相乗効果等)

町会デジタル設備の有効活用/市と町会との連携/町会行事運営の簡素化



《収支予算書》

【収入】

科目	予算額	内 訳
補助金・ 助成金	¥171,550	
当補助金		
その他		
自己資金	¥106,000	当会の資産より
会費		
利用者負担金		
協賛金・寄附		
その他		
合 計	¥277,550	

【支出】

	科目	予算額	内 訳
補助 対象 経 費	委託費	¥33,000	ポスターデザイン料¥22,000 資料デザイン料 ¥11,000
	消耗品費	¥15,000	紙 ¥1,500 その他 クリアファイル、延長ケーブル等
	印刷製本費	¥78,550	資料 60部 ¥12,000 ポスター1,000部 ¥66,550
	食糧費	¥15,000	参加者へのお茶代 ¥300(ゆうゆうどら焼き+お茶)X50人
	通信運搬費	¥20,000	機材の運搬 (¥4,000 x 5回)
	保険料	¥10,000	レクレーション保険
	小 計	¥171,550	内 訳 補助金申請額：¥171,550 自主財源：0
補助 対象 外 経 費	謝礼金	¥96,000	講師、サポータの謝礼金
	食糧費	¥10,000	団体員のお茶代
	小 計	¥106,000	
	合 計	¥277,550	